

四半期報告書

(第64期第2四半期)

自 平成20年7月1日
至 平成20年9月30日

マナック株式会社

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報	1
第1 企業の概況	1
1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2
第2 事業の状況	3
1 生産、受注及び販売の状況	3
2 経営上の重要な契約等	5
3 財政状態及び経営成績の分析	5
第3 設備の状況	7
第4 提出会社の状況	8
1 株式等の状況	8
(1) 株式の総数等	8
(2) 新株予約権等の状況	8
(3) ライツプランの内容	8
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	8
(5) 大株主の状況	9
(6) 議決権の状況	10
2 株価の推移	10
3 役員の状況	10
第5 経理の状況	11
1 四半期財務諸表	12
(1) 四半期貸借対照表	12
(2) 四半期損益計算書	14
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	16
2 その他	21
第二部 提出会社の保証会社等の情報	22

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成20年11月12日
【四半期会計期間】	第64期第2四半期（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）
【会社名】	マナック株式会社
【英訳名】	MANAC INCORPORATED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 杉之原 祥二
【本店の所在の場所】	広島県福山市箕沖町92番地
【電話番号】	084（954）3330（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 岡本 道俊
【最寄りの連絡場所】	広島県福山市箕沖町92番地
【電話番号】	084（954）3330（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 岡本 道俊
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第64期 第2四半期 累計期間	第64期 第2四半期 会計期間	第63期
会計期間	自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	自平成20年7月1日 至平成20年9月30日	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
売上高（千円）	3,756,215	2,003,508	7,918,755
経常利益（千円）	109,180	78,814	382,612
四半期（当期）純利益（千円）	61,259	42,531	222,953
持分法を適用した場合の投資利益 （千円）	—	—	—
資本金（千円）	—	1,757,500	1,757,500
発行済株式総数（千株）	—	8,625	8,625
純資産額（千円）	—	8,513,432	8,713,269
総資産額（千円）	—	11,252,332	11,326,145
1株当たり純資産額（円）	—	1,058.77	1,038.56
1株当たり四半期（当期）純利益金 額（円）	7.40	5.21	26.57
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
1株当たり配当額（円）	5.0	5.0	13.0
自己資本比率（％）	—	75.7	76.9
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	197,552	—	292,651
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	△129,560	—	△504,112
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	△274,410	—	17,629
現金及び現金同等物の四半期末（期 末）残高（千円）	—	2,016,120	2,222,532
従業員数（人）	—	193	183

（注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3 【関係会社の状況】

当第2四半期会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

提出会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数（人）	193
---------	-----

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第2四半期会計期間の生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
難燃剤 (千円)	633,205
無機臭化物 (千円)	125,542
有機薬品 (千円)	1,058,887
一般無機物 (千円)	257,681
その他 (千円)	778
合計 (千円)	2,076,096

(注) 上記の記載金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

(2) 商品仕入実績

当第2四半期会計期間の商品仕入実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
難燃剤 (千円)	76,704
無機臭化物 (千円)	15,507
有機薬品 (千円)	7,330
一般無機物 (千円)	114,249
その他 (千円)	13,543
合計 (千円)	227,335

(注) 上記の記載金額は仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当社は見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

(4) 販売実績

当第2四半期会計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)		
	製品 (千円)	商品 (千円)	合計 (千円)
難燃剤	596,029	75,165	671,195
無機臭化物	119,534	27,372	146,906
有機薬品	791,317	5,245	796,563
一般無機物	253,267	120,611	373,878
その他	782	14,182	14,964
合計	1,760,930	242,577	2,003,508

(注) 上記の記載金額は消費税等は含まれておりません。

(5) 主要顧客別売上状況

当第2四半期会計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	当第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)
中尾薬品株式会社	292,877	14.6
第一工業製薬株式会社	282,068	14.1

(注) 上記の記載金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライム・ローン問題を起因として、欧米や新興国経済の急激な減速に伴い、株式・為替市場は低迷し、あわせて原油や原材料が高騰したことから企業収益は悪化し、さらに物価の上昇により個人消費が冷え込み、景気の後退懸念が強まりました。

化学業界におきましては、特に原・燃料の高騰に伴う影響や在庫調整とみられる需要減退により、ファインケミカル分野は大幅に収益が悪化傾向にあります。一方、電子材料は先端分野を中心に相対的に堅調であったものの、先行きの需要動向には不透明感が生じてきております。また、世界的な景気減速の影響を受け高機能樹脂をはじめとした高付加価値製品の需要も減少懸念が伺え、収益面では採算状況が極めて厳しくなっております。

このような環境のもと、当社は、高騰する原・燃料価格を製品売価への転嫁を進め、生産面においては、徹底した生産効率を追求し、原・燃料のコスト上昇分の吸収に努めております。一方、開発面においては、ユーザーからの要求に対し、スピード感をもった対応に注力してまいりました。

当第2四半期会計期間の売上高は2,003百万円、営業利益は44百万円、経常利益は78百万円、第2四半期純利益は42百万円となりました。

当第2四半期会計期間末の総資産は11,252百万円となり、前事業年度末に比べ73百万円減少いたしました。流動資産は7,217百万円となり、135百万円増加いたしました。固定資産は4,035百万円となり、209百万円減少いたしました。

有形固定資産は、2,920百万円となり、168百万円減少いたしました。投資その他の資産は1,107百万円となり、38百万円減少いたしました。

当第2四半期会計期間末の負債合計は2,738百万円となり、前事業年度末に比べ126百万円増加いたしました。流動負債は2,187百万円となり、50百万円増加いたしました。

当第2四半期会計期間末の純資産の部は、8,513百万円となり、前事業年度末に比べ199百万円減少いたしました。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の76.9%から75.7%となり、1.2%低下いたしました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は（以下「資金」という。）は、2,016百万円となりました。

当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は138百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益66百万円及び減価償却費144百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は70百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出60百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は89百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出153百万円の支払い等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

今後のわが国経済は、サブプライム問題を主因とした欧米経済の減速に伴い新興国の景気減退、慢性的な原材料の高値推移から、企業収益は圧迫され、製品の値上げ基調が続く、結果的に消費者の購買力を弱め、今後も一層厳しい状況が続くものと思われま。

化学業界におきましては、原油やナフサ価格は一時の高騰傾向から若干落ち着きつつありますが、引き続き厳しい経営環境が続くものと考えられます。

当社におきましては、更なる経営の効率化・合理化に努め、利益重視の経営に全力で取り組んでまいります。

(4) 研究開発活動

当第2四半期会計期間における研究開発活動の金額は76百万円であります。

なお、当第2四半期会計期間における当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期会計期間において、前四半期会計期間に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,200,000
計	23,200,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成20年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成20年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,625,000	8,625,000	東京証券取引所 市場第二部	—
計	8,625,000	8,625,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減 額(千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成20年7月1日～ 平成20年9月30日	—	8,625,000	—	1,757,500	—	1,947,850

(5) 【大株主の状況】

平成20年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
東ソー株式会社	東京都港区芝3丁目8-2	1,608	18.65
財団法人松永育英奨学会	広島県福山市箕沖町92番地	916	10.62
三菱製紙販売株式会社	東京都中央区京橋2丁目6-4	607	7.04
株式会社広島銀行	広島市中区紙屋町1丁目3-8	322	3.74
杉之原 祥二	広島県福山市	248	2.87
マナック社員持株会	広島県福山市箕沖町92番地	171	1.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7-1	161	1.87
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6-6	148	1.72
合同資源産業株式会社	東京都中央区京橋3丁目1-3	110	1.27
中尾薬品株式会社	大阪市北区天満4丁目6-20	101	1.18
計	—	4,394	50.95

(注) 上記のほか、当社保有の自己株式が584千株あります。

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成20年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 584,000	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 7,904,000	7,904	—
単元未満株式	普通株式 137,000	—	1単元 (1,000株) 未満の株式
発行済株式総数	8,625,000	—	—
総株主の議決権	—	7,904	—

② 【自己株式等】

平成20年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
マナック株式会社	広島県福山市箕沖町92番地	584,000	—	584,000	6.77
計	—	584,000	—	584,000	6.77

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高 (円)	440	415	490	460	440	435
最低 (円)	390	386	391	457	425	330

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第二部におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第5【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び当第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3. 四半期連結財務諸表について

四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（平成19年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高等から見て、当企業集団の財政状態及び経営成績に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は次のとおりであります。

資産基準	1.78 %
売上高基準	0.58 %
利益基準	△1.21 %
利益剰余金基準	1.88 %

1 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	294,178	660,967
受取手形及び売掛金	3,089,856	3,020,085
有価証券	1,421,942	1,061,564
商品	15,455	13,694
製品	969,378	799,449
原材料	637,895	557,595
仕掛品	337,656	349,312
その他	453,688	622,052
貸倒引当金	△2,913	△2,864
流動資産合計	7,217,137	7,081,858
固定資産		
有形固定資産	※ 2,920,955	※ 3,089,812
無形固定資産	6,935	8,329
投資その他の資産	1,107,304	1,146,145
固定資産合計	4,035,195	4,244,286
資産合計	11,252,332	11,326,145
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,351,021	1,161,600
短期借入金	136,800	270,000
未払法人税等	49,475	28,343
賞与引当金	132,950	132,950
その他	517,270	544,376
流動負債合計	2,187,517	2,137,270
固定負債		
長期借入金	211,500	130,000
退職給付引当金	213,073	200,223
役員退職慰労引当金	64,429	64,429
その他	62,380	80,952
固定負債合計	551,382	475,604
負債合計	2,738,900	2,612,875

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,757,500	1,757,500
資本剰余金	1,947,850	1,947,850
利益剰余金	4,972,851	4,978,709
自己株式	△240,910	△87,376
株主資本合計	8,437,290	8,596,683
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	76,141	116,586
評価・換算差額等合計	76,141	116,586
純資産合計	8,513,432	8,713,269
負債純資産合計	11,252,332	11,326,145

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	3,756,215
売上原価	3,010,684
売上総利益	745,530
販売費及び一般管理費	※ 695,555
営業利益	49,975
営業外収益	
受取利息	5,012
受取配当金	12,523
受取ロイヤリティー	22,087
その他	25,602
営業外収益合計	65,226
営業外費用	
支払利息	2,242
その他	3,778
営業外費用合計	6,020
経常利益	109,180
特別利益	
投資有価証券売却益	850
賞与引当金戻入額	9,207
特別利益合計	10,058
特別損失	
損害賠償金	5,299
固定資産処分損	3,889
投資有価証券評価損	10,116
特別損失合計	19,304
税引前四半期純利益	99,933
法人税、住民税及び事業税	45,062
法人税等調整額	△6,388
法人税等合計	38,674
四半期純利益	61,259

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	2,003,508
売上原価	1,617,214
売上総利益	386,294
販売費及び一般管理費	※ 341,331
営業利益	44,963
営業外収益	
受取利息	2,817
受取配当金	638
受取ロイヤリティー	13,243
その他	18,682
営業外収益合計	35,381
営業外費用	
支払利息	1,140
その他	390
営業外費用合計	1,530
経常利益	78,814
特別利益	
投資有価証券売却益	78
特別利益合計	78
特別損失	
固定資産処分損	2,626
投資有価証券評価損	10,116
特別損失合計	12,742
税引前四半期純利益	66,150
法人税、住民税及び事業税	7,245
法人税等調整額	16,373
法人税等合計	23,618
四半期純利益	42,531

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	99,933
減価償却費	280,672
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	49
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	12,849
受取利息及び受取配当金	△17,536
支払利息	2,242
投資有価証券売却損益 (△は益)	△850
投資有価証券評価損益 (△は益)	10,116
固定資産処分損益 (△は益)	3,889
損害賠償損失	5,299
売上債権の増減額 (△は増加)	△69,770
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△238,527
仕入債務の増減額 (△は減少)	189,421
その他	△65,986
小計	211,801
利息及び配当金の受取額	17,537
利息の支払額	△2,635
損害賠償金の支払額	△5,299
法人税等の支払額	△23,851
営業活動によるキャッシュ・フロー	197,552
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△124,274
投資有価証券の取得による支出	△24,900
投資有価証券の売却による収入	19,613
投資活動によるキャッシュ・フロー	△129,560
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△200,000
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△51,700
自己株式の取得による支出	△153,534
配当金の支払額	△69,176
財務活動によるキャッシュ・フロー	△274,410
現金及び現金同等物に係る換算差額	7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△206,411
現金及び現金同等物の期首残高	2,222,532
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,016,120

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
会計処理基準に関する事項 の変更	<p>たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として月次総平均法による低価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として月次総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。</p> <p>これにより、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は、それぞれ21,901千円減少しております。</p>

【簡便な会計処理】

該当事項はありません。

【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
<p>(有形固定資産の耐用年数の変更)</p> <p>当社の機械装置については、従来、耐用年数を7年としておりましたが、第1四半期会計期間より5年に変更しました。</p> <p>この変更は、平成20年度の税制改正による機械装置の法定耐用年数の変更を機会に、経済的使用可能予測期間を見直した結果、耐用年数の短縮を行っております。</p> <p>これにより、当第2四半期累計期間の売上総利益が45,776千円、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は、それぞれ46,072千円減少しております。</p>

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末 (平成20年3月31日)
※ 有形固定資産の減価償却累計額は、9,558,785千円であります。	※ 有形固定資産の減価償却累計額は、9,350,515千円であります。

(四半期損益計算書関係)

当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
従業員給料手当	158,735千円
賞与引当金繰入額	50,924
退職給付費用	11,068

当第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
従業員給料手当	80,155千円
賞与引当金繰入額	25,565
退職給付費用	5,534

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表 に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在)	
	(千円)
現金及び預金勘定	294,178
金銭の信託	300,000
有価証券勘定に計上しているMMF等	801,942
有価証券勘定に計上している譲渡性預金	620,000
現金及び現金同等物	2,016,120

(株主資本等関係)

当第2四半期会計期間末(平成20年9月30日)及び当第2四半期累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

- 発行済株式の種類及び総数
普通株式 8,625千株
- 自己株式の種類及び株式数
普通株式 584千株
- 新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。
- 配当に関する事項
(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月24日 定時株主総会	普通株式	67,117	8.0	平成20年3月31日	平成20年6月25日	利益剰余金

- (2) 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年11月7日 取締役会	普通株式	40,204	5.0	平成20年9月30日	平成20年12月5日	利益剰余金

5. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成20年8月1日付で自己株式346,000株を取得いたしました。この結果、当第2四半期会計期間末における自己株式は153百万円増加し、240百万円となっております。

(有価証券関係)

著しい変動がないため、記載しておりません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社の関係会社は、非連結子会社1社及び持分法非適用関連会社1社ですが、損益等からみて重要性に乏しいため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)		前事業年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	1,058.77円	1株当たり純資産額	1,038.56円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	7.40円	1株当たり四半期純利益金額	5.21円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
四半期純利益(千円)	61,259	42,531
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	61,259	42,531
期中平均株式数(株)	8,273,386	8,163,451

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

著しい変動がないため、記載しておりません。

2 【その他】

平成20年11月7日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額……………40百万円

(ロ) 1株当たりの金額……………5円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日……………平成20年12月5日

(注) 平成20年9月30日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月7日

マナック株式会社
取締役会 御中

監査法人 トーマツ

指定社員 業務執行社員	公認会計士	世良 敏昭	印
----------------	-------	-------	---

指定社員 業務執行社員	公認会計士	家元 清文	印
----------------	-------	-------	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているマナック株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第64期事業年度の第2四半期会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、マナック株式会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間の経営成績並びに第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。